

全会員へ、急いで募金を訴えよう！

地震発生から3週間が経過しようとしています。現地の県連・民商は会員の安否や被害の状況の把握に奔走しています。姫路民商では会員に訴え、支援物資が事務所に集まってきました。また、班の募金袋を活用し、全会員を視野に入れた組織活動が広がっています。「負けてたまるか大震災」心ひとつに奮闘しましょう。

会員の7割から支援募金（神戸西）

神戸西民商は地震発生後すぐに役員会を開き、独自の支援募金袋を作成し、3月中に50万円は集めようと決めました。

すでに、7割以上の会員から550,582円の支援募金が集まりました。

支部を中心に役員が組をくんで会員訪問を繰り返しています。訪問すると、「助け合いや、頑張つてや」と激励の言葉。会えなかった会員も早急に訪問する計画です。

早く届けてと（灘）

水道筋支部の喫茶店では「5千円を出してコーヒー代を支払い、おつりの全部を募金してくれるお客さんもいて、たくさんの善意が集まっている。早く被災地に届けたい」と、あたたかい声が寄せられています。

東日本大震災が経営に及ぼす影響についての緊急調査 寄せられた声

- ・建築資材の買占めによる品切れ。それにより着工遅れ。（半月から1か月間）（建設）
- ・東北のお酒が入ってこない。ペットボトルの水も。東京に本社を持つ会社の歓送迎会のキャンセルが相次いでいるので、弱った。（飲食）
- ・電線が入りにくい。値上げも考えられる。（電気工事業）
- ・材料が一部入ってこないから完成できない。コンパネが入ってこない。塗料も工場が震災でやられているようで、入ってこない。建具関係の材料が入ってこない。長期になると、会社の危機につながる。（リフォーム業）

現地激励 明日出発！
兵商連役員5人が明日夜、東北3県へ物資を積み込み出発します。
現地の要望を聞き、必要な支援物資は、市内民商を中心に急きょお願いし、兵商連事務所に長靴や下着、歯ブラシセットなど、物資がどんどん運びこまれています。
2日昼に宮城県連、3日午前中に岩手、3日夕方に福島と、現地を訪問し、激励する計画です。また、4日の兵商連対策本部会議に状況を報告し、次の支援に連携させる予定です。



靴を県連事務所まで持ってきてくれた日高会長（須磨）

長田民商は、いかなごパック150個にメッセージを入れて準備。



昨年5月、メガネ店を閉めた揖電穴栗の会員さん。「メガネ枠やレンズがあります。被災者の方に用い老眼鏡に加工して下さる店があれば商品を提供したいと思います・・・と、あたたかい連絡がありました。

第1次分として、支援募金を全商連に送金しました。

全商連緊急情報を読み合わせよう！

このニュースは県連三役、民商事務所のみに送付しています。県連役員・民商役員への送付をお願いします。